

## 増築された図書館をご紹介します

令和2年1月から令和3年5月末にかけて行われていた、図書館東側の増築工事が完了しました。現在、増築部分のうち、図書館部分の開架（1,2階）が利用可能となっております。

※同時に増築された3,4階は、大学院アクティブラーニングセンターの一部となります。図書館からは通り抜けできませんので、ご注意ください。

### ■地下1階（準備中）

地下1階では、書庫狭陰化に対応するため、電動集密書架の増設を行いました。また、新設した貴重書庫にて、貴重資料の保管環境の整備を進めています。

### ■1階 ラーニングcommons



今回の増築により、ラーニングcommonsが大幅に拡張されました！

ラーニングcommons内のグループワーク用座席を増やし、授業やセミナーでご利用いただけるセミナーエリアも増設いたしました。また、新設のエリアでは、プロジェクタや大型モニター等のデジタル機器も設置しております。

ラーニングcommonsが大きくなったことにより、隣同士の距離を開けて座席をご利用いただけます。

オンライン授業などで使用できる個別ブースも用意されていますので、ぜひご利用ください！

### ■2階 インフォメーションcommons&開架



2階の増築部分では、インフォメーションcommonsを新設し、電源を利用できる座席を追加しました。情報機器を使いながら学習したり、考えを深められたりするよう、新たに個人用のソファ席も設置しています。

インフォメーションcommonsの隣には、文庫、新書、叢書・全集、地図の書架が移設されています。近くの閲覧席に座って、これらの図書館資料をじっくり読むことができます。

このほか、全館に渡って、資料の移設や再配置、各エリアの再編成を実施しております。

移設された資料の場所など、ご不明な点があれば職員までお気軽にお尋ね下さい♪



# 図書館オンラインガイド公開中！



図書館では毎年新入生を対象に図書館の使い方などのガイダンスを行っています。今年度は、図書館を利用する際に役立つオンラインガイドを作成いたしました。ぜひご覧ください！

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/learning/online/guide>

## 【公開コンテンツ】

1. 図書館ツアー
2. 自動貸出機の使い方
3. ブックポストへの返却
4. 学芸大OPACの基本操作① ~特定の本を探してみよう~
5. 学芸大OPACの基本操作② ~キーワードから本を探す~
6. 学芸大OPACの基本操作③ ~雑誌を探す~
7. 返却期限の延長方法
8. 貸出中資料の予約方法
9. 館内での複写（コピー）
10. 書庫の利用方法
11. 学生購入希望図書とは



アクセスはこちら！▶



## OPACに新機能が続々追加！

学芸大OPAC（蔵書検索）の検索結果から各種サービスへのリンクが追加されました。

①版元ドットコムで内容紹介を見る  
本の詳細情報（内容・著者の紹介、目次情報など）へのリンクです。どの本を読もうか迷ったときの強い味方です。

②「Get Fulltext」  
OPACでヒットした図書・雑誌の電子版へのリンクです。ここをクリックして開く「中間窓」のページ（左図）から、電子ジャーナルの閲覧（電子ジャーナルが利用できる場合）や、他大学の所蔵検索、文献取り寄せ申込などができます。

③「本棚を見る」  
その本が配架されていると思われるデジタル書架ギャラリー（当館2F開架書架の画像を並べたもの）につながるボタンです。このボタンをクリックすることで、オンライン上でも本棚を見ながら本を探することができます。「本棚を見る」ボタンは、概ね請求記号370番台（教育分野）の資料に表示されます。

# R3年度電子展示「おもちゃ絵・絵双六で遊ぼう」を公開中！



「おもちゃ絵」や「絵双六」の遊び方に注目した電子展示「おもちゃ絵・絵双六で遊ぼう」を行っています。電子展示とはWeb上に資料を展示することで、自宅からでも楽しんでいただける展示です。

今年度は感染症拡大防止のため、展示会場に来て楽しむリアルな展示会ではなく、電子展示を開催することになりました。

展示ページ：<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/exhibitions>

本展示は全部で6テーマに分かれており、江戸時代後期から近代にかけて多数制作・出版され、子供たちの手遊びのために描かれた「おもちゃ絵」、「絵双六」をピックアップしています。

また、これらの資料はすべて「東京学芸大学附属図書館デジタルアーカイブ」上で、画像を公開しています。実際に資料を印刷して展示を見ながら遊ぶことができます。

おうち時間にぜひ展示を見ながら遊んでみてください！



## 【公開スケジュール】

① 組上絵（くみあげえ）・立版古（たてばんこ）  
<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/exhibitions/510>



④ 凧絵（たこえ）  
<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/exhibitions/513>



② 両面絵（りょうめんえ）  
<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/exhibitions/511>



⑤ 着せかえ絵（きせかええ） 令和3年12月1日公開予定

③ 折り替わり絵（おりかわりえ）  
<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/exhibitions/512>



⑥ 絵双六（えすごろく） 令和4年1月4日公開予定



## デジタル教科書が図書館でも閲覧できます

2021年度春学期より、附属図書館において学内者（本学学生、教職員）向けに指導者用デジタル教科書の提供を開始いたしました。現場で実際に使用されている教材に触れて、デジタルならではの各種コンテンツやツールを試したり、紙の教科書との違いを確認したり、デジタル教科書を用いた授業を組み立てたり、様々なことに活用いただけます。

2021年10月現在、出版社と本学との取り決めにより「たのしい理科3～6年（大日本図書）」、「小学校算数1～6年（東京書籍）」、「新しい数学1～3年（東京書籍）」を図書館1階論文閲覧室内の指定パソコンにて提供しております。（※東京書籍発行のものは2022/03/31まで）

上記の資料の他にもICTセンターを通して利用可能なものを含めて、下記のページに学内で利用できるデジタル教科書のリスト、利用条件、注意事項等をまとめております。こちらをご確認の上、授業や教育実習の準備にぜひご利用ください。

### 【参考】

附属図書館ホームページ>学習・研究支援>教科書・デジタル教科書

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/learning/textbook>

## ● 2021年春学期学習サポート活動報告 ●

### ● 学習サポーターサポートデスク

リニューアルしたラーニングコモンズに相談デスクを設置し、図書館の利用案内、コモンズ内の環境整備を実施しました。

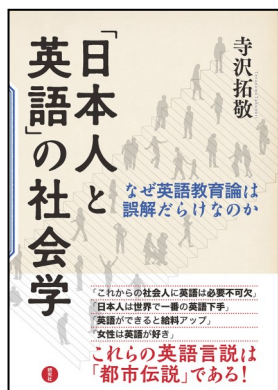
### ● 企画準備

秋学期に行う教科書コーナーの利用促進企画、絵本の展示企画の実施に向けて、ミーティングや事前準備を行いました。

秋学期も引き続き相談業務と企画の本実施に向けて活動を実施予定です。

公式Twitterでは窓口での相談受付時間についても発信中です。→[https://twitter.com/learn\\_supporter](https://twitter.com/learn_supporter)

みなさま、秋学期もぜひご活用ください。



『「日本人と英語」の社会学—なぜ英語教育論は誤解だらけなのか』寺沢拓敬著 (研究社,2015)

ISBN:9784327378219

請求記号: 830.7/TER

資料ID:12014006349

日本人は「英語好き」だと思う。英語学習関連の書籍、スマホのアプリ、動画配信などの種類の豊富さを見ても、日本社会での「英語(学習・教育)」の市場規模が決して小さくないことがわかる。そんな中、「日本人は英語ができない」と言われ続け、英語教育の新しい政策が次々と打ち出されてきた。英語教育学を専門とする私の体感としては、日本の英語教育界はダメ出しをし続けられてきていると感じる。確かにダメな部分もあるが、教育の成果を正しく検証しようとしないうちにダメ出しばかりされているという気がする。この本は、そんな私の気持ちをほんの少し晴らしてくれた。

本書は、世の中でまことしやかに唱えられている英語教育にまつわる情報(通説・俗説)の真偽を明らかにしようとする一冊で、これまでに公開されている研究論文や調査結果を二次利用して検証している。この手法は英語教育学の分野では新しい。例えば「日本人は英語下手」という言説については、世界で日本人だけが突出して英語ができないわけではないが、国内で見ると世代を問わず「みんなできない」状況があること、高学歴・富裕層間の比較では日本は最下位クラスだが、ブルー職者、非富裕層間では平均レベルであること、などがわかった。「英語下手」とひとことで言っても、その様相は複雑だ。

教育は複合要因で、それをどう紐解いていくかが研究者の腕の見せ所であり、教員を目指す人にとっては必携の視点である。

## 東京学芸大学附属竹早小・中学校 メディアセンター紹介

東京学芸大学竹早地区では、平成13年度より本格的に幼小中連携教育研究が行われています。敷地内にある小・中学校の校舎は繋がっており、メディアセンターは小学生と中学生が同じ空間を共有しています。このため蔵書数は2校分となり、小学生が中学校の小説を読んだり、中学生が探究学習で小学校の図鑑も活用したりと、個々の成長やニーズに合った柔軟な利用が可能となっています。

小学校では毎週1時間の図書の時間があり、読みかせや参考図書の利用指導などが行われています。元気いっぱいの子どもたちは知的好奇心に目を輝かせながら、様々な本を手にとって自分の世界を広げていきます。中学生は各自の研究テーマを深く掘り下げてレポートや論文を作成するため、メディアセンターにとって幅広い分野の蔵書の充実に繋がっています。委員会活動も活発で、これまでに「リレー小説」「本の処方箋(福袋)」「スタンプラリー」など楽しいイベントが企画されてきました。連携授業を通して附属幼小中の園児・児童・生徒たちが関わり合う機会もあります。

昨夏、日本初の産官学連携の学校システム改革「未来の学校 みんなで創ろう。プロジェクト」が始動しました。今後大きく関わっていく竹早地区では、小中メディアセンターも「未来の学校図書館」として各方面と連携し、新たな取り組みを模索しています。これまでにない、ワクワクするような学校図書館…どんなものが生み出されるか楽しみです。

(文責:東京学芸大学附属竹早中学校 司書 中村誠子)



▲小学生への読み聞かせ



▲様々な活用される広い空間



▲お昼休みは人であふれる  
閲覧コーナー

▲中学国語の授業の1コマ  
閲覧コーナー

図書館  
かわら  
ばん

図書館かわらばん No.5

2021年11月22日 発行

東京学芸大学附属図書館

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

TEL:042-329-7223 FAX:042-329-7226

URL: <https://lib.u-gakugei.ac.jp/>



[https://twitter.com/gakugei\\_lib](https://twitter.com/gakugei_lib)

東京学芸大学附属図書館公式  
Twitterでは、図書館に関する  
お知らせについて、いち早く  
発信しています。

